２０２０年１月６日
愛知製鋼株式会社

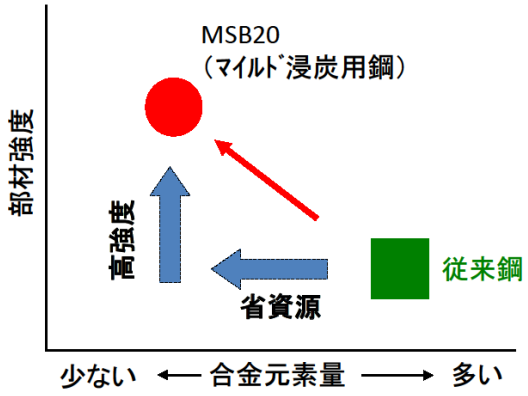
「マイルド浸炭用鋼ＭＳＢ２０」が「ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」を受賞

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：藤岡高広）は、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社（取締役社長：尾﨑和久）および日本製鉄株式会社（代表取締役社長：橋本英二）と共同開発した「マイルド浸炭用鋼ＭＳＢ２０」について、３社連名で第８回ものづくり日本大賞の経済産業大臣賞を受賞することが決定しました。

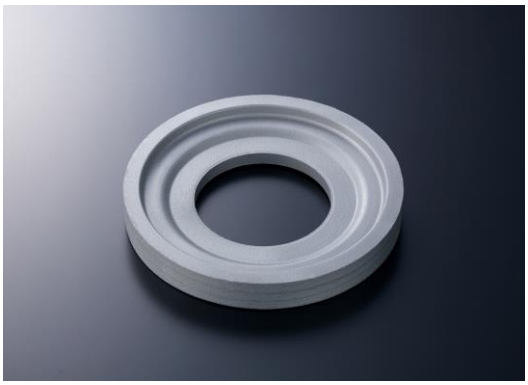
ものづくり日本大賞制度は、経済産業省が国土交通省、厚生労働省、文部科学省と連携し、日本の産業・文化を支えてきたものづくりを継承・発展させるため、ものづくりを支える人材の意欲を高めることを目的に設立された顕彰制度で、２０２０年１月２７日（月）に表彰式が実施されます。

「マイルド浸炭用鋼ＭＳＢ２０」は、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社が開発した表面硬化熱処理方法である「マイルド浸炭プロセス」の特徴を最大限に発揮できるように開発した鋼種です。モリブデンとクロムを添加せず省合金化しながら、自動車用部品の更なる高強度軽量化を実現し、素材コスト低減や自動車の燃費改善に貢献するだけでなく、省資源化による地球環境への負荷低減も実現した技術として更なる展開が期待されます。

当社は今後も、多様なニーズに応える技術開発・市場開拓に努め、進化を続ける社会に貢献していきます。



マイルド浸炭用鋼と従来鋼との比較


ディファレンシャルリングギヤ
（当社鍛造粗形材での採用例）